

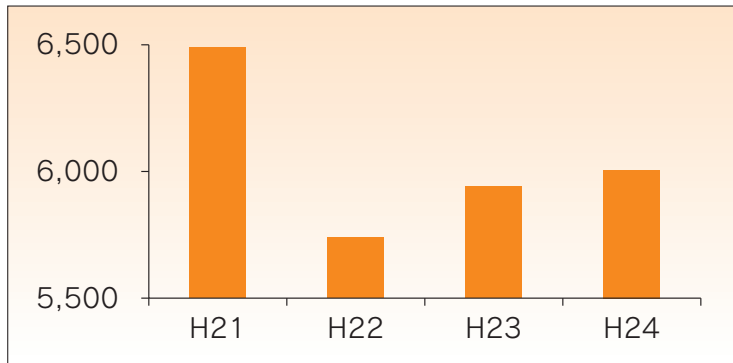
燃やせるごみがリバウンドしています

毎日出るごみを分別するのは、手間がかかり大変かもしれません。

「分別するのは面倒」、「私ひとりくらいなら大丈夫」と考える人が増えてしまうとごみはすぐに増えてしまいます。

平成22年度はプラスチック製容器包装(以下「プラ」)・白色トレイの分別に伴い、燃やせるごみの量が前年度に比べて大幅に減りました。しかし、平成23年度、平成24年度と燃やせるごみの量が増加傾向にあります。

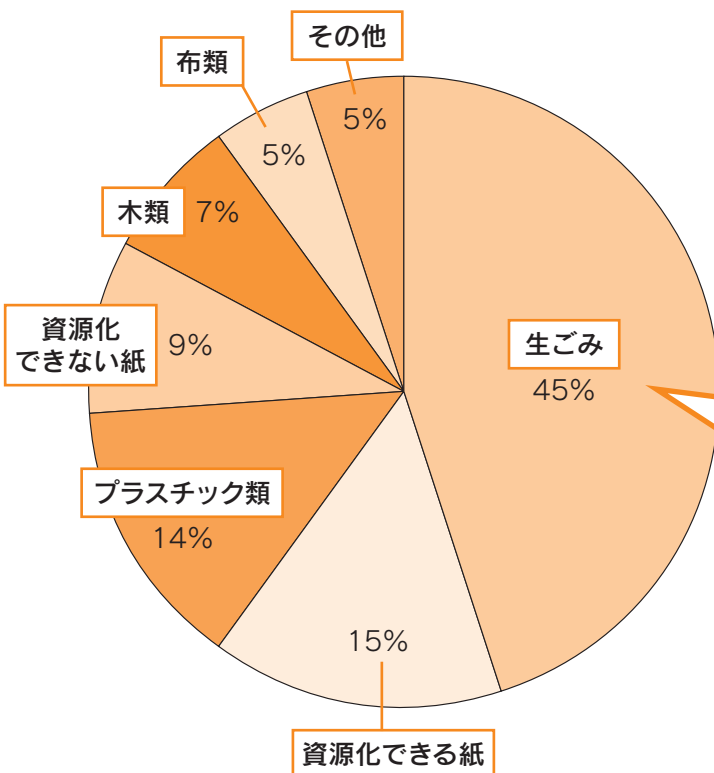
燃やせるごみの量(単位:t)



せっかくごみの減量が実現できても、一時的なものでは大きな成果に結びつけることはできません。

皆さんの大切なお子さんやお孫さんのためにも健全な環境を引き継ぎ、次の世代への責任を果たしていきましょう。

燃やせるごみを減らしましょう！



(燃やせるごみの内訳)

「生ごみ」が大部分を占めています。

次に多いのが「資源化できる紙(資源物)」、「プラスチック類」です。

生ごみの中には、賞味・消費期限切れの食品が約10%含まれています。

買いすぎて食べ切れずに捨ててしまうというように、買い物は計画的にして、無駄なごみが出ないようにしましょう。

特集

燃やせるごみを減らすために



スポレク祭の参加者に水切りネットを配布しました。

★生ごみの水切りを しましょう

燃やせるごみの約半分は生ごみです。

生ごみの多くは水分です。水分を切ることで大幅に減らすことができます。

また、生ごみを堆肥化し、有効利用しましょう。町ではコンポスト容器や機械式生ごみ処理機の購入費の一部を助成しています。

★資源になる「紙類」「プラ」は資源物へ

メモ用紙やお菓子の空き箱などは資源(「その他の紙」)になります。

また、おそうざいなどの入っていたプラスチック製(プラマークが付いているもの)の容器やペットボトルは資源として生まれ変わります。



そのほか、町ではごみ分別指導員によるごみステーションのパトロールや自治会等向けの分別説明会を行っています。説明会を希望される団体等はお相談ください。

紙類を出すときのお願い

「その他の紙」は
中身が出ないように
してください!

「ダンボール」は
しばって出して
ください!



どうしてしばらないと
いけないの?

バラバラのままだと風で飛ばされたり、運搬時の事故の原因になる可能性があるからです。

※ダンボールを1枚だけ出す時も、バラバラで出したと見られないように、しばって出してください。

「その他の紙」の出し方

- ダンボールに入れる場合
→フタを折り込む
- 紙袋に入れる場合
→上部を折り、ひもでしばる



▶問い合わせ先＝
住民生活課 生活環境係

☎(56) 9131

「年末年始のごみ収集等のお知らせ」は9ページをご覧ください。